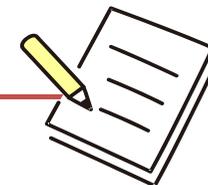




ヤングケアラー実態調査から見えた課題を踏まえ
ヤングケアラーへの支援の取組を強化します

令和5年4月27日
区長記者発表

令和4年9月～10月 「ヤングケアラー実態調査」を実施

**対象**

【子ども】 区立小学校に在籍している小学生、中学生、高校生世代
調査内容: 普段の生活に関することや世話をしている家族の有無 など

【事業所など】 高齢者・障害者・子育て家庭の支援に関わる事業所、区立小・中学校
調査内容: ヤングケアラーと思われる子どもの有無、支援ニーズ など

子どもへの調査結果

世話をしている家族が「いる」と回答した子どもの声

学校や周りの大人に自分のことについて話を聞いてほしい。



勉強や友達と過ごす時間が足りない。

**事業所などへの調査結果**

「家庭内の状況が見えにくいので実際の状況がつかみづらい」など、家庭への介入の難しさを感じている事業所が多数あった。また、「子ども自身が困っていることを伝えるのが難しいのではないか」という意見も。

詳しい調査結果は区ホームページに掲載中

今回の事業所等への調査で確認できた
ヤングケアラーと思われる子ども

42人

この42人については、
関係機関と連携して、すでに
適切な支援につなげています！

調査結果から見えた3つの課題と区の実践

課題1 家庭が抱える様々な状況・課題の共有と支援

令和5年4月に区にヤングケアラー支援コーディネーターを配置し、「ヤングケアラー支援体制検討委員会」を設置して関係機関と連携強化

課題2 子どもが声を上げやすい環境づくり

- ・ヤングケアラーに関する周知・啓発を積極的に実施
- ・ヤングケアラーの正しい理解に向けたガイドラインを令和5年度中に作成

課題3 子どもの身体的な負担軽減と心理的サポート

- ・子どもに家事などの負担を負わせない対策を検討
- ・子ども向け相談窓口の周知を強化



区の子ども向け情報発信ページから、子どもが相談できる窓口一覧にアクセス可能